令和6(2024)年度年次報告書

栃木市人権施策推進プラン第3期計画

2024年度~2028年度

令和6	令和7	令和8	令和9	令和 0
(2024)	(2025)	(2026)	(2027)	(2028)
年度事業	年度事業	年度事業	年度事業	年度事業





令和7年 I O月 栃 木 市



目 次

第	1	章	7	書本	の趣	肾…	• • • •	••••	• • • •	••••	••••	• • • •	••••	••••	• • • •	••••	•••••		١
第	2	章	-	プラ	ンに	つい	て	••••	••••	••••	••••	• • • • •	•••••	••••	• • • • •	••••	••••		2
第	3	章	Ę	事業	実施	拔沂	こに	つし	ヽて	••••	••••	• • • •	•••••	••••	• • • •	••••	••••		4
				١.	男女	の人	権…	• • • • •	•••••	••••	• • • •	•••••	••••	••••	••••	••••	• • • • • • •		5
				2.	子ど	もの	人権	<u> </u>	•••••	••••	• • • •	•••••	••••	•••••	••••	••••	• • • • • • •		7
				3.	高齢	者の	人権	į · · · ·	•••••	••••	• • • •	•••••	••••	•••••	••••	••••	• • • • • • •	I	I
				4.	障が	い者	の人	、権・・	•••••	••••	• • • •	•••••	••••	•••••	••••	••••	• • • • • • •	I	3
				5.	部落	差別	••••	• • • • •	••••	••••	• • • •	•••••	••••	••••	••••	••••	• • • • • •	I	4
				6.	外国	人の	人権	į · · · ·	••••	••••	• • • •	•••••	••••	••••	••••	••••	• • • • • •	I	5
				7.	イン	ター	ネッ	٠ ١ :	こよ	る人	、権	問題	••••	•••••	••••	••••	• • • • • • •	I	7
				8.	多様	な性	にか	かれ	っる。	人権	Ē•••	•••••	••••	•••••	••••	••••	• • • • • • •	I	8
				9.	働く	人の	人権	į · · · ·	•••••	••••	• • • •	•••••	••••	•••••	••••	••••	• • • • • • •	I	9
			1	0.	災害	に伴	う人	、権間	引題	••••	• • • •	•••••	••••	•••••	••••	••••	• • • • • • •	2	0
			1	١.	感染	症に	か、か、	わる	る人	権問	題	•••••	••••	•••••	••••	••••	• • • • • • •	2	I
			1	2.	犯罪	被害	者と	その	7家	族の)人;	権…	••••	••••	••••	••••	• • • • • •	2	2
			1	3.	刑を	終え	て出	所し	した。	人の)人;	権…	••••	•••••	••••	••••	• • • • • • •	2	4
			1	4.	ホー	ムレ	ス等	生活	舌困:	窮者	f に	かか	る人	権…	••••	••••	• • • • • • •	2	5
			1	5.	アイ	ヌの	人々	· の /	人権	••••	• • • •	•••••	••••	•••••	••••	••••	• • • • • • •	2	6
			ı	6.	北朝	鮮に	よる	拉到	文問:	題…	• • • • •		••••	••••	••••	••••	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	2	7

第 | 章 本書の趣旨

本市では、平成26(2014)年に「栃木市人権施策推進プラン」を、平成31 (2019)年に第2期計画、令和6(2024)年に第3期計画を策定し、市民一人ひとりがお互いを認め合い、夢をかなえることのできる人権尊重の社会実現のため、意識啓発に関する各種施策の推進に取り組んでいます。

本書は、「栃木市人権施策推進プラン第3期計画」に基づき取り組んできた令和6(2024)年度人権施策事業の実施状況について報告するものです。

これにより、本市における人権施策の推進状況を捉え、事業の成果を分析する ことにより、課題を見つけ、次年度以降の人権施策の在り方を検討し必要に応じ た見直しを行っていきます。





職員向けフィールドワーク研修



盲導犬体験学習(中学生)



人権啓発人形劇 (園児)

第2章 プランについて

計画の基本理念

人権とは、誰もが生まれながらにして持っている「人間らしく、自分らしく 生きる」ための権利です。自分も自分以外の人も、すべての人が幸せに暮らし ていくためには、自分の権利と同じように、他の人の権利を認めて、尊重し合 うことが大切です。

栃木市では、次の基本理念と3つの目指す姿を掲げて、すべての人の人権が 尊重され、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現を目指します。

〈基本理念〉

『こころ知む、むんな質質のあったか。とらぎ』

〈目指す姿〉

市民一人ひとりがお互いを認め合い、 個性と能力を十分に発揮することができる栃木市

人と人が支え合い、心豊かに暮らすことが できる栃木市

多様性が尊重され、だれもが自分らしく 生きることができる栃木市

施策の体系

基本理念の実現のため、人権に対する分野別施策を推進していきます。

分 野	施策の方向
1.男女の人権	①人権尊重とジェンダー平等の教育・啓発の推進
	②女性活躍と多様な生き方への支援
	③性と生(命)の尊重
2.子どもの人権	①子どもの人権を尊重する教育・啓発の推進
	②いじめや不登校等の問題に対する取組
	③児童虐待防止対策の充実
	④健やかな成長への取組
3.高齢者の人権	①高齢者の人権を尊重する教育・啓発の推進
	②高齢者の尊厳の確保
	③高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進
4.障がいのある人の人権	①障がい特性及び障がい者に対する理解の促進
	②障がい者の人権の尊重と権利擁護の推進
	③就労支援と社会参加の促進
5.部落差別(同和問題)	①偏見や忌避意識の解消のための教育・啓発の推進
	②相談・支援体制の充実
6.外国人の人権	①多文化共生意識を育む教育・啓発の推進
	②外国人への支援
7.インターネットによる	①インターネットの適正な利用に関する教育・
人権問題	啓発の推進
8.多様な性にかかわる人権	①人権意識の推進と支援
9.働く人の人権	①職場における人権意識の推進と支援
10.災害に伴う人権問題	①人権尊重の視点に立った災害対応の推進
1.感染症にかかわる人権問題	①正しい理解と人権意識啓発の推進
12.犯罪被害者とその家族の人権	①人権意識啓発の推進と支援
13.刑を終えて出所した人の人権	①人権意識啓発の推進と支援
14.ホームレス等生活困窮者に かかわる人権	①人権意識啓発の推進と支援
15.アイヌの人々の人権	①人権意識啓発の推進
16.北朝鮮による拉致問題	①人権意識啓発の推進

第3章 事業実施状況について

本計画では、各分野の成果・活動指標(全 34 指標)を設けて、令和 9 年度の目標値の達成に向けた実施状況を計測しています。

第3期計画の初年度の進捗状況について、評価の結果は以下のとおりです。

区 分 説 明 指標数

A群 令和6年度までに目標を達成

Ⅰ 7 指標

(A+ 令和6年度の数値が目標値を上回っている

7 指標)

(A- 令和 4·5 年度で達成し、令和 6 年度は目標値を下回った

6 指標)

B群 基準値から上昇し、目標値に近づいている

I0指標

C群 基準値から上昇していない

その他 現時点で成果が計測できないもの

4 指標 3 指標

(「男女の人権」の2指標は意識調査が未実施。また「遺族見舞金支給率」 はこれまで対象となる案件がありませんでした。)

分 野	A+	А	A-	В	С	その他	計
1.男女の人権	1		1	1		2	5
2.子どもの人権	3		1	2	1		7
3.高齢者の人権	1			1	1		3
4.障がいのある人の人権				2			2
5.部落差別(同和問題)		1					1
6.外国人の人権	1		2				3
7.インターネットによる人権問題	1						1
8.多様な性にかかわる人権			1				1
9.働く人の人権				2			2
10.災害に伴う人権問題				2			2
11.感染症にかかわる人権問題					1		1
12.犯罪被害者とその家族の人権			1			1	2
13.刑を終えて出所した人の人権		1					1
14.ホームレス等生活困窮者にかかわる人権					1		1
15.アイヌの人々の人権		1					1
16.北朝鮮による拉致問題		1					1
Δ €1	7	4	6	10	4	2	2.4
合計		17		10	4	3	34
比率		50.0%		29.4%	11.8%	8.8%	100.0%

目標達成済みの指標と、目標値へ向けて着実に上昇している指標が全体の約80%を占めており、第3期計画の初年度として概ね順調に推進されていると判断します。

今後も、目標達成とさらなる成果の向上を目指し、市役所内の各部署や関係機関・団体との情報共有・連携を一層強化して、計画を着実に推進してまいります。

○各分野別人権施策の推進状況

ここからは、分野別に成果・活動指標の進捗状況をみていきます。

1. 男女の人権

男女共同参画プラン第3期計画に基づく取組を着実に推進してまいりました。特に、各種審議会等への女性委員の登用を促進する取り組みを強化した結果、審議会等の委員に占める女性の割合は令和6年4月1日時点で39.7%となり、目標値の40%には及ばなかったものの、県内市町の中では最も高い水準を確保することができました。

次世代を担う学生たちに対して、多様な選択を可能にする学習機会を提供するため、キャリアデザイン講座、理工系チャレンジ講座を実施し、多くの児童生徒が参加しました。

この他、男女平等意識の高揚や、男女共同参画社会の実現を促進するため「男女共同参画のつどい」や「とちぎ市男女共生大学」をはじめとする講座・啓発を推進しました。また、人権尊重の観点から、発達段階に応じた性に関する授業や、思春期保健教育、婦人相談・DV防止等を推進しました。

設定指標	社会全市民の		で男女が	平等だ	と思う		出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明
目標設定の趣旨	分野で男	女共同参	画が促進	で活力あ されること と思う市民		市民アンケート調査結果で社会全				
	基準値	(参	考)			推移			目標値	体の中で男女の地位が「平等に なっている」と回答した人の割合
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R9	
単位(%)	16			_					20	
取組実績	辛融調本	S/+F/=/	一年の知ら	旧本中长山	てもり ケ	マロ調査は	- △ ∓⊓ o <i>t</i>	=		担当課
(この1年の取り組み)	思識過上	1142416	支の舟	可で 天心に	ノしのリ、ル	(凹)) 且(6	┖┸┸	-		人権·男女共同参画課
推進状況·課題·方向性 等	社会全体 行い、男						講座等を活	舌用した意	識啓発を	達成状況 その他

設定指標			は家庭 3人の割	_	生別役害	引分担	出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明
目標設定の趣旨	があり、そ	の解消に「	会の実現に 句けた取約 についてみ	が必要で		市民アンケート調査で固定的な性 別役割分担意識「男は外で働き、				
	基準値	(参	考)			推移			目標値	」女は家庭を守るべき」という考え方 に「賛成」又は「どちらかと言えば賛
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R9	成」と答えた人の割合
単位(%)	3								1	
取組実績	音樂調本	SI+C在I=-	一座の期間	四次宝焼!	てもり ケ	7回調査は	· △ •□ o d	=		担当課
(この1年の取り組み)	忠誠诇旨	11424-10	支の光川	まて天心に	Casis	(凹詗且(8	·T⊃MUO⊣	-		人権·男女共同参画課
推進状況·課題·方向性 等						のため、引き)組みます。		卒等を活用	した意	達成状況 その他

設定指標	各種審	議会等	委員に占	らめる女は	計画	指標の説明				
目標設定の趣旨	会における	る女性の登	党用を促進	攻策・方針 することが みています						
	基準値	(参	考)		目標値	市の各種審議会等に占める女性				
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R9	の割合
基準日	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1						
単位(%)	36.1	36.4	37.8	39.7					40	
取組実績 (この1年の取り組み)	性の委員 女性参画 ・委員会	参画社会 会等への 可の推進に 等の組織 数 1,5	参画状況 取り組みる 数 88組織		担当課 人権・男女共同参画課					
推進状況·課題·方向性 等				る附属機関 340%を超				い、引き続	き女性	達成状況 B

設定指標	とちぎ市	男女共	生大学	年間受認	講者数		出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明				
目標設定の趣旨	生き生き	男女共同参画社会の実現に向け、共に学び考え、それぞれの活動を通して、自分らしく 生き生きと活躍、行動できる力を身につける人材を育成することが重要です。 この指標では、男女共生大学の参加者数の推移をみています。												
	基準値	(参	考)			推移			目標値	年に複数回行われる講座の受講				
年度	R3	R4	R5	R9	者数の合計									
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末						-				
単位(人)	82	184	138	345					180	-				
取組実績(この1年の	男女共同]参画社会	実現に向	け行動で	きる人材で	を を 育成する	ために男:	女共同参	画をテー	担当課				
取り組み)	マとする諱	極を7回	開催しまし	<i>」</i> た。						人権·男女共同参画課				
推進状況·課題·方向性 等						、内容を充	ご実させ、	若い人や男	見性にも	達成状況 A+				
		参加してもらえるような講座を実施していきます。 学生を対象とした研修会年間受講者数 出典 第2次 振木市総合計画												
設定指標	学生を対	対象とし	た研修会	会年間受	受講者数	Ż	出典	1	計画	指標の説明				
設定指標目標設定の趣旨	次世代を 習機会の	担う学生 提供が必	たちに対し 要です。こ	会年間受 て、男女夫 の指標で(チャレンジ)	共同参画では、中学 <u>生</u>	を推進し、 主を対象と	多様な選 したキャリ	栃木市総合 択を可能(アデザイン)	こする学	指標の説明				
	次世代を 習機会の	担う学生が 提供が必 そを応援す	たちに対し 要です。こ	て、男女夫 の指標で(共同参画では、中学 <u>生</u>	を推進し、 主を対象と	多様な選 したキャリ	栃木市総合 択を可能(アデザイン)	こする学	中学生向けキャリアデザイン講座や				
	次世代を 習機会の 工系女子	担う学生が 提供が必 そを応援す	たちに対し 要です。 ご る理工系	て、男女夫 の指標で(共同参画では、中学 <u>生</u>	を推進し、 主を対象と 講者数の記	多様な選 したキャリ	栃木市総合 択を可能(アデザイン)	こする学 講座や理	中学生向けキャリアデザイン講座や 小中高校生向けの理工系チャレン				
目標設定の趣旨	次世代を 習機会の 工系女子 基準値 R3	担う学生だ 提供が必 そを応援す (参	たちに対し 要です。こ る理工系 考) R5	て、男女夫 の指標で(チャレンジ) R6	共同参画では、中学生 は、中学生 講座の受調	を推進し、 主を対象と 講者数の3 ^{推移}	多様な選したキャリ	栃木市総合 択を可能(アデザイン)	こする学 講座や理 ^{目標値}	指標の説明 中学生向けキャリアデザイン講座や 小中高校生向けの理工系チャレン ジ講座の参加者数				
目標設定の趣旨	次世代を 習機会の 工系女子 基準値 R3	担う学生 提供が必 を応援す (参 R4	たちに対し 要です。こ る理工系 考) R5	て、男女夫 の指標で(チャレンジ) R6	共同参画では、中学生 は、中学生 講座の受調	を推進し、 主を対象と 講者数の3 ^{推移}	多様な選したキャリ	栃木市総合 択を可能(アデザイン)	こする学 講座や理 ^{目標値}	中学生向けキャリアデザイン講座や 小中高校生向けの理工系チャレン				
目標設定の趣旨 年度 基準日	次世代を 習機会の 工系女子 基準値 R3 R3年度末	担う学生 提供が必 を応援す (参 R4 R4年度末 501	たちに対し 要です。こ る理工系 考) R5 R5年度末	て、男女井 この指標で(チャレンジ R6 R6年度末	共同参画4 は、中学5 講座の受 R7	を推進し、 主を対象と 講者数の3 推移 R8	多様な選したキャリ 合計をみて	板木市総合 択を可能 アデザイン にいます。 R10	こする学 講座や理 目標値 R9	中学生向けキャリアデザイン講座や 小中高校生向けの理工系チャレン				
目標設定の趣旨 年度 基準日	次世代を 習機会の 工系女子 基準値 R3 R3年度末 199 キャリアデ	担う学生 提供が必 を応援す (参 R4 R4年度末 501 ザイン講座 ヤレンジ講	たちに対し 要です。ご る理工系 考) R5 R5年度末 776 26月2 源 (帝	て、男女夫 の指標では チャレンジ語 R6 R6年度末	共同参画なは、中学学 講座の受講 R7 大平 い あっち かっち い おっち い か に か い か に か い か に か に か に か に か に か	を推進し、 主を対象と 講者数のる 推移 R8 R8	多様な選 したキャリ 合計をみて R9	板木市総合 研を可能 アデザイン こいます。 R10	こする学 講座や理 目標値 R9	中学生向けキャリアデザイン講座や 小中高校生向けの理工系チャレン ジ講座の参加者数				

2. 子どもの人権

いじめの解消、予防、子育ての支援、教育の支援・児童虐待の予防など多岐にわたる事業を行い、学校・家庭・地域全体で連携した子どもの保護・支援・育成にとりくみました。

子どもの人権を尊重する教育・啓発として令和6・7年度にかけて栃木南中、栃木第四小、 南小を研究校に指定して取組を進めたほか、すべての小中学校で人権教育に取り組みました。 また、人権擁護委員による人権の花活動や園児への人形劇などの啓発を実施し、SOSミニレター の周知を行いました。

いじめや不登校等の問題への取組については、いじめについてのアンケート調査を実施し、 早期発見を図り、いじめの解消に向けた指導・助言を行いました。

健やかな成長への取組として、地域子育て支援センター等での支援や、ひとり親家庭への助成、妊娠期から子育て期における伴走支援などを実施しました。

子どもたちが自立できる力を身につけ、その個性や能力を最大限に発揮できるよう、地域全体の子育て支援を保護者によるこども未来アシストネットの活用など、地域全体での子育てを支援しました。

ヤングケアラーへの実態把握と支援、子どもの貧困対策を含め、家庭と学校、地域が連携して子どもの成長を見守る仕組みを強化します。

設定指標	いじめ角	 解率					出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明
目標設定の趣旨	たちが健か	子どもの <i>)</i> やかに育つ こついては	よう、いじ		いじめの認知件数に対するいじめ					
	基準値	(参	考)	目標値	の解消数の割合					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R9	
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末						
単位(%)	80	79.5	71.5	78.9					85	
	児童生徒	Eに対するi	も 独自のは	いじめについ	ハてのアン	ケート調査	を1回、名	- S校に対し	ては、2か	担当課
取組実績(この1年の取り組み)	, , ,			査を実施 旨導・助言			果をもとに	、各校の ³	見状を把	学校教育課
推進状況·課題·方向性 等	し、いじめ 2か月に1 態を把握	いじめにつ の未然防 回のいじょ し、いじめ 経消に努め	止、早期的 加認知件数 事案対応	じめの実	達成状況 C					

設定指標			域貢献 参加人数	活動·地	域ボラン	ンティア	出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明
目標設定の趣旨	することで ます。	、思いやり	や社会貢	ボランティ <u>?</u> 献の心が 也域貢献?		年度末に、市内全小・中学校から				
	基準値	(参	考)	目標値	の活動報告書を提出してもらい、 生涯学習課で集計したもの					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R9	The control of the co
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末						
単位(人)	2,320	2,328	2,481	3,140					4,000	
取組実績(この1年の取り組み)	実践の様 報の共有 ・アシスト	子を紹介 を図りまし ネット公民	し、各学校 た。 館担当者	交の関係者	域教育協	ディア交流を 官の担当、 弱議会で、」 した。	地域のボ	ランティアグ	マと情	生涯学習課
推進状況·課題·方向性 等	伴い、児 あります。 いく方針で ・地域活動	童・生徒のまた、とちまです。 動や地域	が成活動では、	か地域買	事業の重	が再開され シ実施回数 点施策の・ 校が増えて	なや参加人 一つとして、	、数は、増	加傾向に XD組んで	達成状況 B

設定指標	保護者	・地域(こ	よる学校	交支援活	動の充	実度	出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明
目標設定の趣旨	となり、人	権意識を	育む土台	動に関わ・ となります。 ケート「教	ノ合う機会 をみてい	年度末に、市内全小・中学校から の活動報告書やアンケートを提出				
	基準値	(参	考)			推移			目標値	してもらい、生涯学習課で集計し
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R9	たもの
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末						
単位(%)	90.7	97.6	97.6	97.6					100	
	各校のア	ンケートの	結果から、	保護者や	地域住民	こ による学札	交支援ボラ	ランティア記	動の充	担当課
取組実績(この1年の取り組み)	2 4/5	地域コー		Nることが分 - 、公民館			, 1,500 1.	0. 5 12.		生涯学習課
推進状況·課題·方向性 等	図っていき	_,,,,,	、地域住	(ランティア) 民による学			2012 (1711			達成状況 B

設定指標	とちぎ未 実度	来アシス	ストネット	計画	指標の説明										
目標設定の趣旨	認められるます。	の指標では、各校からのアンケート「学校支援ボランティアを受け入れてどのような効果が にはしたか」の集計結果の推移をみています。 の活動報告書やアンケートを提出													
	基準値	(参	考)			推移			目標値	してもらい、生涯学習課で集計し たもの					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R9	1200)					
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末											
単位 (%)	63.4	77.6	81.8	84.5					75						
	令和6年	度の学校	支援ボラン	ケイア参加	四者は延1	67,619 <i>)</i>	しであり、台	キ々増加 値	頃向にあ	担当課					
取組実績(この1年の取り組み)			⁷ シストネッ 爰ボランティ	. 3 214 -	J. 1, 12. 1			,,	,55,11	生涯学習課					
推進状況·課題·方向性 等	ていくことが	が必要であ	活動の質 あると考えま の醸成を	す。今後	は、保護者					達成状況 A+					

設定指標	地域子	育て支持	爰センタ-	-年間和	川者数	ζ	出典	第2次 栃木市総合	合計画	指標の説明
目標設定の趣旨	中の保護	者が楽し	<i>"。</i> 子育てで	子育て講 き、不安や の地域子	悩みを軽	減できる。	さう支援す	ることが重	要です。	年度末に、市内全子育て支援セ ンターに活動報告書を提出しても
	基準値	(参	考)	目標値	らい、子育て総務課で集計したも					
年度	R3	R4	R5	Ø						
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末						
単位(人)	37,245	47,177	51,983	54,335					45,000	
	1 -15 ->/ 1-	- ()								担当課
取組実績(この1年の取り組み)	子育ての	!(主に概相談や助 て対応しま	言、情報提	相談内	子育て総務課					
推進状況·課題·方向性 等		対は増加傾とと連携の		役での事	達成状況 A+					

設定指標	こども家援件数		支援拠,	点におけ	る年間村	目談支	出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明
目標設定の趣旨	携し、児童	童虐待のえ 、養育支	卡然防止、	充実・強化 . 及び早期 ングケアラー	発見、早	期対応が	重要です	。この指標	では、家	家庭相談員、養育支援員、ヤング
	基準値	(参	考)	目標値	ケアラーに電話相談や家庭訪問を 行った件数					
年度	R3	R4	R5	R9	133761132					
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末							
単位(件)	6,383	6,385	7,086	6,595					6,900	
	家庭相談	以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 り り り り り り り	素 育古坪	員2名、ヤ	ゝ゚゚゚゚゙゙゚゙゚゙゚゚゚゚゚゙゚゙゙゙ヹ゚゚゚゙゙ヿ゙゚゚゙゚	1 夕を西	選 家族	:関係や旧	音差謹	担当課
取組実績(この1年の取り組み)	関係に関		さ、家庭内	電話相談	こども家庭センター					
推進状況·課題·方向性 等	的な相談	体制を構	築していき	5り、内容に まます。今後 の連携を図	後において	も、多種多			0.2.13.1.3	達成状況 A –

設定指標	こどもに	関する相]談年間	新規受	付数		出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明
目標設定の趣旨	係機関と	の連携が	円滑に行れ	つれるように	支援する	ことは重要	そです。こ の	もにあった。 D指標では yています。		小理相談員、こども支援員が直接
	基準値	(参	考)			推移			目標値	面接相談を新規で受けた件数
年度	R3	R4	R5	R9						
基準日		R4年度末	R5年度末	R6年度末						
単位(件)	_	200	154	246					210	
	こども家庭	ミヤンターご	どものすた	ち応援係	として、心	理相談員	5名、 <i>こと</i>	も支援員	3名、保	担当課
取組実績(この1年の 取り組み)						-1000		の面接を行		こども家庭センター
推進状況・課題・方向性 等	のすだちに	宝センターの 芯援係とし わせて、電 対を計上し	て相談事	達成状況 A+						

3. 高齢者の人権

成果・活動指標のうちシルバー人材センター年間就業者数は伸び悩んでいますが、引き続き 周知を行い高齢者の生きがいづくり、社会参加をはかります。

「認知症高齢者等SOS ネットワーク登録者数」は外出時に行方不明になる可能性のある認知症の早期発見のために服に貼り付ける見守りシールを交付するもので対象者への普及が進んでおり、あわせて協力事業者の登録や、普及啓発を行っています。

「あったかとちぎ体操」は栃木市が制作した介護予防や転倒予防のための高齢者向けの筋力 運動で、自治会やグループでの取り組む団体が増え、目標値を超えて増加し、地域の交流にも 寄与しました。

高齢者の人権尊重の啓発活動、認知症の人や家族の権利擁護のための相談支援、介護保険制度の適正な運営の他、地域の多様な主体が高齢者の暮らしを支える地域包括ケアシステムの構築を引き続き推進します。

設定指標	シルバー	-人材セ	ンター年	間実就	業者数		出典	第2次 栃木市総合	計画	ł	旨標の説明
目標設定の趣旨								くりとして重 数についてる			
	基準値	(参	考)			推移			目標値	1年間に栃木	▽市シルバー人材セン
年度	R3	R4	R5	R9	ターで就業した	を実人数					
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末							
単位(人)	776	753	727	728					830		
取組実績(この1年の取り組み)		広報パンフ 代に培った		の紹介を	高齢介護課	担当課					
推進状況·課題·方向性 等		届いていた		るなど、	達成状況	С					

設定指標	認知症	高齢者	等SOS	ネットワ-	-ク登録	者数	出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明
目標設定の趣旨	なった方を	発見した	際に、安召	忍知症高齢 ら情報や身 SOSネット	元確認(は円滑にで	きることが	望ましいで	す。この	認知症高齢者等が行方不明に なった際に、対象者の安否情報等 をインターネット上で共有し、対象
	基準値	(参	考)			推移			目標値	者の身元確認や家族への引渡し
年度	R3	R4	R5	R9	を円滑に行うためのSOSネット					
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末						ワークへ登録し、見守りシールを交 付した人数
単位(人)	40	77	110	144					300	130/67(9)
										担当課
取組実績(この1年の取り組み)		をおけます。 トワーク協力		例 1件)	地域包括ケア推進課					
推進状況·課題·方向性 等		す。今後に		犬、関係機に向けたも						達成状況 B

設定指標	あったか	とちぎ体	操年間	参加者数	数		出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明
目標設定の趣旨	となって取で、虚弱に 地域住民	い組むこと 高齢者等 このコミュニ	ができる選 ハイリスクの ティの活性	も簡単には 動であり、 D高齢者も 化を図り、 この指標で	高齢者か 介護予防 本市の地	通いやす 活動に取 域包括ク	い身近な ^り なり組むこと アシステ <i>し</i>	場所で実施 ができます 4の構築に	施すること け。また、 資すること	1年間にあったかとちぎ体操に参加した延べ人数
	基準値	(参	考)	目標値	U/CXE- V/CX					
年度	R3	R4	R5							
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末							
単位(人)	23,166	28,177	35,412	38,568					30,000	
	地域住民	こが主体と	なって取り	組むことが [・]	できる「あっ	ったかとちき	体操」の	普及啓発 ^注	を行うとと	担当課
取組実績(この1年の取り組み)		施希望団体 団体ありま		が規立ち	地域包括ケア推進課					
推進状況·課題·方向性 等	今後も引 げていきま		たかとちぎ	体操の普	活動を広	達成状況 A+				

4. 障がいのある人の人権

成果・活動指標である「障がい者社会参加促進事業年間活動実績数」「障がい者年間相談件 数」ともに、目標値に向けて数値が向上しました。

障がい者に対する理解の促進、社会参加の促進、権利擁護関する各種の研修、相談事業を実施しました。

令和7年2月にはバリアフリー、ユニバーサルデザインに基づいて設計された都賀総合支所 が開設されました。

設定指標	障がいる	 者社会参	·加促進	事業年	間活動	実績数	出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明
目標設定の趣旨				ン、生きがし この指標で				係を形成す	けるため、	
	基準値	(参	考)	目標値						
年度	R3	R4	R5	R9	して実施した事業数					
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末						
単位(回)	24	29	34	32					35	
取組実績(この1年の	栃木市力	ラオケ大好	子き交遊会	、車椅子	ダンス教室	三、写真教	室、写真	展示会、制	料理教室	担当課
取り組み)	等、様々	な事業を	実施しまし		障がい福祉課					
推進状況·課題·方向性 等	しています	度に新型: 「。各事業 う後も継続	の参加人		達成状況 B					

設定指標	障がいる	当年間 相	目談件数	Ż			出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明
目標設定の趣旨	のため援		です。この打	者などから 旨標では、						
	基準値	(参	考)	目標値	相談支援専門員・保健師による					
年度	R3	R4	R5	R9	福祉相談件数					
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末							
単位(件)	4,790	4,244	3,522	4,810					5,000	
	継続して	嫜がい者 σ)相談支援	髪を行いまし	」た。相談	されるケー	スは困難	ケースであ	ることが	担当課
取組実績(この1年の取り組み)	/5 (-	関する相談	とだけでは	eな情報の なく、家族! :した。	J. C. I. I. T. T. C.	-,5 , - , - , - , - , - , - , - , - ,		り、関係根	機関と連	障がい福祉課
推進状況·課題·方向性 等	福祉サーまた、権利	の相談支持 ビスの提供 関擁護や障害を図る。	た、継続がい者の		達成状況 B					

5. 部落差別 (同和問題)

特定職業従事者である市職員を対象にフィールドワーク研修を行い、実際に現地で、当事者の案内により学ぶことで、現状や成り立ちを知ることができました。また、学校現場でも教職員の研修が行われています。今後も部落差別問題に対する正しく理解することための研修会、学習会を実施してまいります。

また、生活相談、人権相談を継続実施し、生活の困りごとや人権侵害に係る相談に対応しました。

設定指標	フィール	ドワークは	研修の実	手施			出典	_	_	指標の説明
目標設定の趣旨	揚を図る	ことは大切は、特定服	です。	,	, , , , , , ,		_,,,,,	バ、人権意 バワーク研		本市職員を対象に行ったフィールド
	基準値	(参	考)			推移			目標値	ワーク研修の回数
年度	R3	R4	R5	R9						
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末							
単位(回)	2	2	2	2					2	
取組実績(この1年の	10日22	日(岩舟	小足館)	と10日24	1口(藤原	(小民館)	にそれぞ	れ13人ず	つ、芸毛	担当課
取り組み)	. =	象に講話						11137(9	八石]	人権·男女共同参画課
推進状況·課題·方向性 等	が分かり、 れました。 今後も当	では、96% 実際に現 事者の案 なすることを	地に出て	攻寄せら	達成状況 A					

6. 外国人の人権

学校での国際理解教室、市民を対象とした国際交流イベント等を実施し、異なる習慣及び価値観の相互理解を推進しました。

外国人相談窓口での日常生活の相談、外国人住民のための防災説明会、広報とちぎの抜粋記事の翻訳、FMくららでの多言語による市政情報の発信など、外国人児童生徒への日本語指導及び適応指導、「進学・学校生活ガイダンス」を実施しました。

設定指標	グローバ 度	ル教育	プログラム	ムによる当	学習目標	達成	出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明
目標設定の趣旨	考えをもと 判断する。 この指標(多面的・3	に議論す ことのでき よ、グロー 多角的な	る体験を る思考力・ バル教育フ	通して、多i 判断力を プログラムの 刃事をとらえ	面的・多角 育成する。 学習を通	からの社会は 角的な視点 ことが求めら して目指し して判断する	なから物事 られていまっ っている「コ	をとらえ、? す。 Eしい情報	客観的にをもとに、	グローバル教育プログラムの学習目標に関連した、児童生徒へのアンケートにおける肯定的な回答の割
	基準値	(参	考)		目標値	合				
年度	R3	R4	R5	R9						
基準日			R5年度末							
単位(%)			85	80						
取組実績(この1年の取り組み)	において、 だことをもの 的な視点	プログラム とにSDGs から物事	コグラム研: の作成、打: の視点で: を捉え、客 に対し、グ	学で学ん 内・多角	担当課 学校教育課					
推進状況·課題·方向性 等	•令和94	年度末に収組に対し	市内全小 よ、各校に って適切な いきます。		達成状況 A –					

設定指標	交流イ	ベント年	間参加和				出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明
目標設定の趣旨	す。	E民の交流 では交流へ		必要で						
	基準値	(参	考)	目標値	栃木市国際交流協会が企画・実 施する交流イベントへの年間参加					
年度	R3	R4	R5	R9	者数					
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末						
単位(人)	256	337	413	566					400	
取組実績(この1年の	日本語ス	ピーチコン	テストやい	ちご狩り、	ぶどう狩り	&バーベキ	ュー、さつ	まいも堀り	体験な	担当課
取り組み)	ど、外国/ た。	人住民のジ	を流イベン	トを企画・	実施し、村	様々な国籍	質の住民に	参加いた	だきまし	総合政策課
推進状況·課題·方向性 等	も増加し		、今後もよ	住民の数 交流を図	達成状況 A+					

設定指標	国際交	流協会	への年間	相談件	数		出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明
目標設定の趣旨	実を図る	など、必要	な支援に	考」として暮 取り組むこ 流協会へ <i>の</i>	とが必要で	です。			窓口の充	
	基準値	(参	考)			推移			目標値	栃木市国際交流協会への年間相
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R9	談件数
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末						
単位(件)	2,459	3,036	2,278	1,942					2,800	
即40字/ま /スの 4 /エの	外国人伯	に足が安全	会心に草	らすための	古揺を行	うため 恵	田和談堂	2口を関シ	4. 苗	担当課
取組実績(この1年の取り組み)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			炎のほか、			, 13 1445 (16			総合政策課
推進状況 · 課題 · 方向性等	が多く、相 あるものの	ではコロナ福 目談件数か)、本市の 記談できるよ	が増加しました。 外国人住	着きつつ	達成状況 A-					

7. インターネットによる人権問題

消費生活センター相談員による、高齢者のインターネットによる消費者トラブルや悪徳商法の対処法の出前講座を実施しました。

小学校でのIT出前講座の実施、小中学校において、発達の段階に応じた「タブレット端末の使用上のルール」を配付し、学校や家庭での使い方や情報モラル教育の充実を図りました。

インターネット上の悪質な差別的書き込み事案の早期発見と拡散防止を図るため、月に3回程 度モニタリングを実施しました。

令和7年4月に施行された情報流通プラットフォーム対処法(改正情プラ法)は、特に大規模な事業者に権利侵害情報の削除や発信者情報の開示といった対応を迅速・適切に進めることを事業者にもとめるものです。改めて不適切な書き込みの発見と通報を強化します。

設定指標	高齢者数	を対象と	したネッ	卜安全教	牧室の実	施回	出典	消費生活基	基本計画	指標の説明
目標設定の趣旨	化など精 す。 この指標:	神的ダメーでは、トラス	ジも受け、	被害者だ	けでなく居]囲にも大	きな影響で	を与えること を与えること るためネット	とになりま	高齢者を対象としたネット安全教
	基準値	(参	考)	目標値	室の実施回数					
年度	R3	R4	R5	R9						
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末							
単位(回)			14	6					4	
	インターネ	ットによるも	最新の消	雪者トラブ	ルの事例や	か悪質商注	去の対処シ	去等につい	T. DVD	担当課
取組実績(この1年の取り組み)		一フレット等	-12.17.1	に向け取	市民生活課					
推進状況·課題·方向性 等	必要であ	るが、講師		発講座がいら減少し	達成状況 A+					

8. 多様な性にかかわる人権

教職員の研修会の他、市・社会福祉協議会職員を対象にしたLGBTQをテーマにした研修・人権講演会を実施しました。

パートナーシップ宣誓制度を設けており、証明書 | 件交付しました(累計3件)。

また、令和6年8月から希望があれば、続柄の欄に「夫(未届)」や「妻(未届)」と記載した住民票を交付することとしました。

今後も、関係機関と連携して、啓発の実施、相談体制の充実に努めます。

設定指標	多様なの開催		弾するた と	めの教職	員向け	研修会	出典		_	指標の説明
目標設定の趣旨	への支援	多様な性 体制を整 は、教職員	えることがっ	皇生徒	教育委員会事務局主催の、多様					
	基準値	(参	考)	目標値	な性を理解するための教職員向け					
年度	R3	R4	R5	R9	研修の実施回数					
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末							
単位(回)	0	1	0	0					1	
										担当課
取組実績(この1年の取り組み)	員に対し [*]	人権に関す て、子どもの いを受けた	の人権にこ	考、教職 であり、差	学校教育課					
推進状況·課題·方向性 等		「に関する を理解す		その中で	達成状況 A-					

9. 働く人の人権

成果・活動指標である、教職員の時間外勤務の削減、ワークライフバランス関連講座の開催 数についてはともに、目標値に向けて数値が向上しています。

長時間労働の是正、男女や雇用形態による所得格差の解消、様々なハラスメント、障がい者 や外国人の雇用・処遇など様々な課題がありますが、各事業を推進し、改善に取り組んでまい ります。

設定指標	時間外 員の割		間1か月	45時	間以内の	の教職	出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明
目標設定の趣旨	間」を確保	景における美 呆するととも では、年間 ています。	に、健康		年間の月別時間外勤務時間の平					
	基準値	(参	考)	目標値	均が45時間以内の教職員の割合					
年度	R3	R4	R5	R9						
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末							
単位(%)	45.1	46.2	53.7	57.9					100	
	学校マネ	トジメントの	改善	・事務	紫猴の効	率化				担当課
取組実績(この1年の取り組み)	教職員・学校への	の意識改革 の人的配置 指導の負担	革	ルの活用	教育総務課					
推進状況·課題·方向性 等	・「月80B ます。 ・教員のB	勤務時間 寺間」を超 寺間外在標 成期間:	えている教	数存在し	達成状況 B					

設定指標	ワーク・	ライフ・バ	ランス関	連講座	回数		出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明		
目標設定の趣旨	進めるため	めの講座の	開催や情	方を選択 報提供が バランスに「	必要です	0				- 令和3年度~令和9年度に実施		
	基準値	(参	考)	目標値	したワーク・ライフ・バランスに関連す							
年度	R3	R4	R5	R9	る講座の累計回数							
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末									
単位(回)	4	9	14	17					34			
取組実績(この1年の取り組み)	12 中学生向 6月	かき方改革 月9日開作 可けキャリア 月12日 カ 月24日 相	崔 参加者 デザイン請 大平中学		担当課 商工振興課							
推進状況·課題·方向性 等					達成状況 B							

10. 災害に伴う人権問題

成果・活動指標である、自主防災組織の組織数、民間企業・団体等との防災協定の締結数ともに、目標値に向けて増加しており、災害の際の支援体制が整備されてきています。

また、火災予防の啓発の他、防災における男女協働参画の推進などの研修・啓発を実施し、災害下においても誰もが十分な支援を受け、人権に配慮されるよう、教育・啓発を行っています。

設定指標	自主防	災組織の	の組織数	汝			出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明
目標設定の趣旨	助」・「共	助」の推進	を図ること	波害の軽減 が重要で 歳の組織数	す。		主民がお <i>互</i>	豆いに助け	合が互	
	基準値	(参	考)	目標値	自主防災組織の組織数					
年度	R3	R4	R5	R9						
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末							
単位(組織)	65	65	68	69					115	
	自主防災	糸組織に対	して必要	な資機材が	よど購入の	ための補用	加金を給 る	付したほか	、防災専	担当課
取組実績(この1年の取り組み)	門家を派		主防災組織	講座によ	危機管理課					
推進状況·課題·方向性 等		主防災組 -ダーの育			達成状況 B					

設定指標	防災協	定締結	数				出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明		
目標設定の趣旨	保するため	めにより多く	の民間企	莫災害が発 注業や関係 引係機関と	機関との	連携が必要	要です。				8 /7 106 BB 675 641 4	
	基準値	(参	考)	目標値	民間企業や関係機関と締結した 災害時応援協定数							
年度	R3	R4	R5	R9								
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末								
単位(件)	99	104	110	114					120			
取組実績(この1年の	令和6年	度締結数	: 4件								担当課	
取り組み)	新たに協	定を締結	するごとにも		危機管理課							
推進状況·課題·方向性 等	の協定に	き続き民間 おいても、 っていきま	大規模災		達成状況	В						

11. 感染症にかかわる人権問題

人権施策を記載した新型インフルエンザ等行動計画の策定は未実施ですが、令和7年度の改定 での実施を予定しています。

設定指標	人権施 計画の		載した新	型インフ	ルエンザ	等行動	出典	-	_	指標の説明
目標設定の趣旨	がら感染	定対策を する対策	実施するた 等を示した	さめには、新	行型インフル	感染者やほ レエンザ等原 等対策行動	感染症が	発生した場	易合に本	改定する新型インフルエンザ等対 策行動計画に人権に配慮した施
	基準値	(参	考)	目標値	策を記載する。					
年度	R3	R4	R5	R9						
単位(記載)	記載なし	記載なし	記載なし	記載あり						
取組実績(この1年の取り組み)	改定され	た栃木県	Eされた新 新型インフ 対策行動は	担当課 健康増進課						
推進状況·課題·方向性 等	ける新型	インフルエン	文定された ンザ等対策 こンザ等対		達成状況 C					

12.犯罪被害者とその家族の人権

犯罪被害者やその家族への支援のため見舞金の支給は令和6年度は該当する方いなかったため、実績はありませんでした。見舞金や制度の周知・広報をはじめ、被害者が平穏に暮らせるための相談支援を県や関係機関と連携して実施します。

設定指標	遺族見	舞金支	給率				出典	-	_	指標の説明
目標設定の趣旨	平穏な暮 栃木市狐 万円の遺	らしを取り 2罪被害者 族見舞金	戻すことか	り被害を受 「できるよう、 そ例を定め ています。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、栃木市 、犯罪行	では、犯罪為により死	被害者等	基本法院	基づいて	犯罪行為により死亡した者の遺族 に対し、栃木市犯罪被害者等支
	基準値	(参	考)			推移			目標値	援条例に基づいて市が支給する見
年度	R3	R4	R5	舞金の支給率						
基準日		R4.4.1	R5.4.1	-						
単位(%)									100	
取組実績(この1年の取り組み)	栃木市がび、同条の	ームページ 列、同条例 可能な広	だ だ に おいて、 列施 行規!	D支給案件 栃木市犯 則を掲載す みび見舞金	罪被害者	5等支援第 、遺族見	を例の制定 舞金の支続	合に関する	る案内、ダ	
推進状況•課題•方向性 等	等支援巡 日(金) 般市民を しています	果が主催((回パネル までの間) 対象とした	J、(公社 事業Jの開	達成状況 その他						

設定指標	重傷病	見舞金	支給率				出典	-	_	指標の説明
目標設定の趣旨	平穏な暮 栃木市犯 の療養のいます。	らしを取り 引罪被害者 期間が1,	戻すことが 詳等支援多 月以上)	できるよう そ例を定め を負った者	、栃木市 、 犯罪行 に対して	なびその家がでは、犯罪 為により重 1 0 万円の	被害者等 傷病(当 の重傷病!	等基本法(4該負傷)	を基づいて 又は疾病	犯罪行為により重傷病を負った者 に対し、栃木市犯罪被害者等支 援条例に基づいて市が支給する見
	基準値	(参	考)	目標値	舞金の支給率					
年度	R3	R4	R5	R9						
基準日		R4.4.1	R5.4.1							
単位(%)		100	100	—					100	
	今和6年	度け 重偽	= 高信目無≤	全の支給す	を生けあり	ませんでし	† -			担当課
取組実績(この1年の取り組み)	栃木市ホび、同条位内、ダウン	- ムペーシ ームペーシ 例、同条例	でにおいて、 列施行規則 とな広報チ	栃木市狐別を掲載す	2罪被害者	音等支援。 に、重傷病」 請用紙を紹	を 発例の制定 見舞金の	支給に関	する案	交通防犯課
推進状況・課題・方向性 等	は、栃木! 等支援巡 (金)までの を対象とし ます。	県が主催((回パネルの間、当月の) では、当月の)	」、(公社 事業」の開 ・1階市民 で書者支援	:)被害者 開催を希望 スペースに	を支援センとした結果といるがある。 というでは、おけるパインのでは、 というでは、 といと。 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 とっと とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。	示期間中	が実施して 9月1日(開催及び	いる「犯事 月)から同 、職員と	『被害者 』月5日 一般市民	達成状況 A-

13. 刑を終えて出所した人の人権

更生保護法人栃木明徳会において、全ての入所者に対し支援プログラムを実施しました。 社会を明るくする運動などでの啓発活動により、刑を終えて出所した人が地域社会の一員と して円滑な社会生活が営めるよう、職場・地域社会の理解の促進、偏見・差別意識の解消を図 るための啓発活動を行いました。

設定指標	更生保 の相談		栃木明征	恵会にお	ける自立	<u>万</u> 更生	出典	再犯防止推	進計画	指標の説明	
目標設定の趣旨	女性出所め、金銭 ラム「セル円滑な社	f者の、一 管理やコミ フコントロ- -会復帰、	時的な帰っ ュニケーシ -ルプログラ 再犯の防.	では、刑務所住先としています。 ヨン能力等 ラム」を実施 止において、 受講者の記	の役割を 、入所者 していまで 重要な役	持つだけで の問題特 す。 割を持つる	なく、円滑 性に焦点	から な社会復 を当てたま	原帰のた を援プログ	セルフコントロールプログラムの受調 率	第
	基準値	(参	考)	目標値							
年度	R3	R4	R5	R9							
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末							
単位(%)	100	100	100	100					100		
取組実績(この1年の取り組み)	者の自立	所者に対し 更生の支 ケーション ミナー	援を行いa		担当課福祉総務課						
推進状況·課題·方向性 等	支援が必ます。	要な入所	者の自立	受していき	達成状況 A						

14.ホームレス等生活困窮者にかかわる人権

成果・活動指標である、就労により自立した世帯数については伸び悩んでいますが、今後も引き続き就労による自立に向けた支援を行うとともに、ホームレスを含む生活困窮者の救助、相談、自立に向けた支援を継続します。

設定指標	就労に。	り自立	した年間	引世帯数			出典	第2次 栃木市総合	計画	指標の説明
目標設定の趣旨	れており、	自立に向	けた取組や	多様化・複 や就労支持 保護から自	爰を推進す	する必要が	あります。	さじた対応	が求めら	
	基準値	(参	考)	目標値	就労による収入の取得・増加により生活保護から自立した世帯数					
年度	R3	R4	R5	R9	ツエル体受力の日立した世帯数					
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末							
単位(世帯)	21	25	20	14					30	
		· — · · · · · · · · · · ·		10451			. D. V. J. 2007 111	·		担当課
取組実績(この1年の取り組み)	被保護者習慣形成労体験や	たのための打	旨導·訓練	及び就	福祉総務課					
推進状況·課題·方向性 等	今後も引けた支援を			自立に向	達成状況 C					

15. アイヌの人々の人権

ポスター掲示や市ホームページを利用し啓発を行いました。また、市内すべての小中学校で 児童生徒の発達の段階に応じて、アイヌの人々や文化の理解を深めるための授業を実施してい ます。

設定指標				ヌの人々 施した学		の理解	出典	-	_	指標の説明
目標設定の趣旨	アイヌの人 にされる社 この指標に 深めるため	上会の実現 よ、アイヌの	見において。 D人々につ		学習指導要領に基づき、各校において、アイヌの人々やその文化につ					
	基準値	(参	考)	目標値	いての理解を深めるための授業を					
年度	R3	R4	R5	R9	実施している学校数					
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末							
単位(校)	42(全校)	42	42	42					42	
	社会科の	授業を中	心に、アイ	マの人々に	こついて多	角的かつろ	系統的に当	学習するこ	とにより、	担当課
取組実績(この1年の取り組み)	単なる歴 性、人権 た。	史上の存 [。] 、共生社会		- 1.51	学校教育課					
推進状況·課題·方向性 等		.,, .,	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,	_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	図の時間な 進していく		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	重携を行	達成状況 A

16. 北朝鮮による拉致問題

北朝鮮人権問題啓発週間にあわせ「ブルーリボン運動」市役所、栃木図書館で特設コーナーを設置して、啓発を行いました。「人権を考える市民の集い」では蓮池薫氏、特定失踪者家族会事務局長の竹下珠路氏の講演を行い市民に周知し、すべての拉致被害者の安全が確保され帰国できるよう世論の形成を推進しました。

設定指標	ブルーリボン運動						出典	_		指標の説明
目標設定の趣旨	北朝鮮による拉致問題の早期解決に向けて、一人ひとりが拉致問題への関心と認識を深めていくことが大切です。 この指標は、「北朝鮮人権侵害問題啓発週間(12月10日から16日まで)」に行った、 啓発のパネル展示等の開催場所数をみています。									
	基準値	基準値 (参考)			推移					─パネル展示等の啓発箇所数
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R9	
基準日	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末						
単位(箇所)	3	3	3	3					3	
	栃木市役所の市民スペースにおいては11月26日から12月17日まで、栃木図書館にお								担当課	
取組実績(この1年の取り組み)										
推進状況·課題·方向性 等	北朝鮮人権侵害問題は、重大な人権侵害であるにもかかわらず進展が見られません。風化させることなく、解決への取り組みを持続していく必要があります。									達成状況 A